

相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

36号

2009.9.20 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

- 5月20日(木)… 戸笠小学校自然観察会/特別活動
- 5月23日(土)… 相生口の竹林管理/定例活動 (兼: トライアルサタデー第1回)
- 6月13日(土)… トライアルサタデー第2回/特別活動
- 6月27日(土)… トンボ池周辺整備/定例活動
- 7月25日(土)… 森の調査/定例活動 (兼: トライアルサタデー第3回)
- 8月22日(土)… 森のクラフト/定例活動
- 8月29日(土)… トライアルサタデー第4回/特別活動

※「トライアルサタデー」は、土曜日の子どもたちの体験活動を促進することを目的に実施されるもので、天白生涯学習センターが主催し、森くらぶのメンバーが講師となっており、子ども達に様々な自然体験をしてもらいました。

5月定例活動

相生口の竹林管理



晴れ上がった5月の定例会は竹林管理で、午前中はトライアルサタデーを

兼ねての活動となりました。

トライアルサタデー第1回目のプログラムは「森の手入れを体験しよう」と銘打って、子ども達に竹切りを体験してもらいました。

今回2時間の講座のうち前半1時間は緑地を歩き、後半が竹林管理体験。相生口付近の竹の除伐に挑戦です。参加者は小学校低学年から中学生まで10数人。

森の散策にはイマイチ乗りの悪い子ども達でしたが、竹切りになると俄然張り切るのが手にとる様にわかってとてもおもしろかったです。

くらぶの皆さんに手取足取りで切り

方を習い、最初はふらふらしながらの作業でしたが、最後の方はしっかりしたノコギリの使い方が出来るようになりました。また帰りにはそれぞれ切った竹を手に持って本当にうれしそうでした。

午後からは、会員が残りの竹切りに精を出しました。作業の結果、雑木を覆っていた竹が払われて、見るからに気持ちの良い空間となりました。

地域の子ども達が作業を通して里山と交流でき、良い体験になったのではないかと思います。私も機会があれば是非子ども達といっしょに竹を切りたいと思います。 (村田 英)

戸笠小学校 自然観察会

5月20日、晴れ。午前中に2回、戸笠小学校の5年生を3グループに分け、観察会を行いました。

森くらぶから森さん、河野さん、中島巳治男、中島ひろみのほか、荒池ふるさとクラブから渡辺さん、若宮さんが応援に来てくださいました。

時間が各回1時間あまり、2回目のグループは“急げーっ”と言って、途中から走って相生口にたどり着きました。

実生のコナラの発芽、アカメガシワの蜜腺にたかるアリの様子、タケノコの一日に伸びる早さ、萌芽更新等、各

グループは違った視点で話をしました。



「ネジキ(毒がある)…いい香り」「ガズミ…臭いがいまいち」「エビヅル…茎をかむと酸っぱくておいしい」「ヒサカキ…うわっ、まずい(ペッペッ)」…。

子ども達は食べるのが好きなようで“秋にまた来ます”ですって。でも鳥が食べるから人間も食べられるとは限りませんので、くれぐれもお気をつけあそばせ。 (中島 ひ)



(本記事の写真は、戸笠小学校の許可を得て、同校ホームページに掲載されたものを使わせていただきました。)